

丸盆岳東尾根

2011年11月3日(金)～4日(土)

メンバー: 池田T、佐藤Y

寸又峡を起点に丸盆岳・黒法師岳・前黒法師岳を周回した。
ポイントは丸盆岳東尾根に上がる所のザレた急斜面と標高1800mあたりの濃い笹ヤブの急な登り。
黒法師岳周辺は以前より笹が成長している気がした。秋の深南部を堪能することが出来た



高天原山荘

11/3(金) 曇り時々晴れ

寸又峡の第3駐車場に車を停めて出発。旅館街を通り抜けて散策コースに入っていく。千頭ダムへは「夢の吊橋」を渡ったほうが近いが約70m登り返すことになるのでパス。距離は大回りだが飛竜橋を渡る。

橋を渡った所に登山届BOXがあったので計画書を投函する。千頭ダムへの林道は全区間舗装でメンテナンスされている。

急峻な崖沿いなので落石があるのが普通だが、ダム関係者がすぐ片づけるのだろう。途中にはトンネルが何か所かあって、最も長いのは約250m。いずれも照明は無い。

2時間半ほどで千頭ダムに到着。このダムは堆砂率が98%と日本一らしい。

実際、ダム湖は地形図よりも明らかに小さかった。砂で埋まってしまったのだろう。



千頭ダム堰堤上の通路。水面が近い。

ダム堰堤上の通路を渡って寸又川の左岸沿いの道を歩く。こちらは一部で崩れていて自然に帰りつつある。

天地第1吊橋から先は大きく崩れていて歩行困難と思われる。

この吊橋は長さ約100m、高さは10数mと高度感は大したことはないが、踏み板がかなり劣化しているので踏み抜かないように足の置き場には注意する必要がある。大きく揺れることは無かったが怖い吊橋である。



天地第1吊橋。足の置き場には要注意。

吊橋を渡ると尾根への取り付けである。地形図には登山道が記されているが、ザレた急斜面なので消

えてしまったのであろう。薄い踏み跡はあったが、やがて消えてしまった。
仕方ないので比較的安定していそうな岩や木をつなぐ形で無理矢理登る。トラバースは危険なのでほぼ直登する。
滑ったら寸又川に落ちそうである。佐藤さんは「ヤバいです」と脂汗をかいていた。実際、沢の高巻きを思い出させる際どい登りであった。

尾根に上がってホッと一息。尾根上はすっきりとした歩き易いトレールとなっていた。
丸盆岳東尾根に危険箇所は無く、概ね踏み跡がある。尾根が広い所などは歩いていて気分が良い。



標高1450m付近。広くて歩き易い。2重山稜になっている。

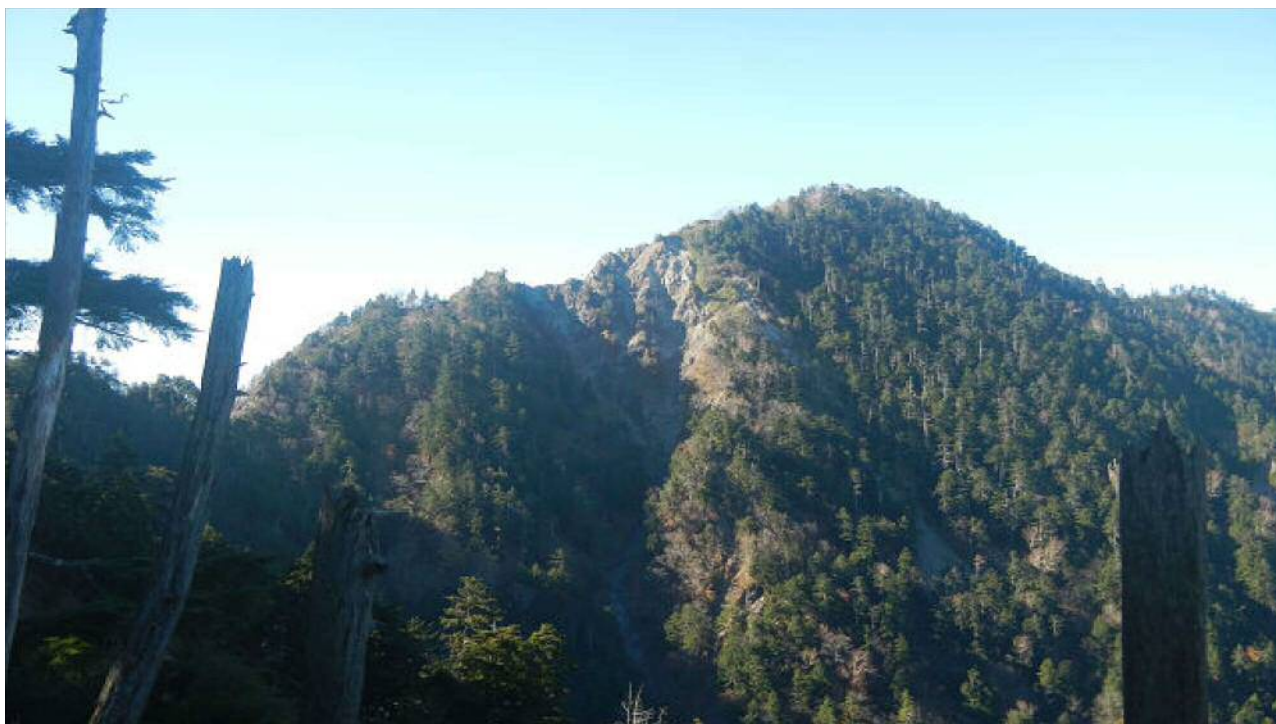


標高1600mあたり。そろそろ笹が出てくる。

等高線が密になっている標高1800～1900mあたりの笹が深かった。登りがキツイ所では頭のあたりまで笹に覆われてかなり苦勞する。笹を掴んで体を持ち上げる感じだ。傾斜が緩んでくると何故か笹も膝下程度になって楽に歩けるようになる。丸盆岳の山頂に着いたのは14時半。計画ではここに幕営だったが、時間に余裕があるので黒法師岳まで進むことにした。

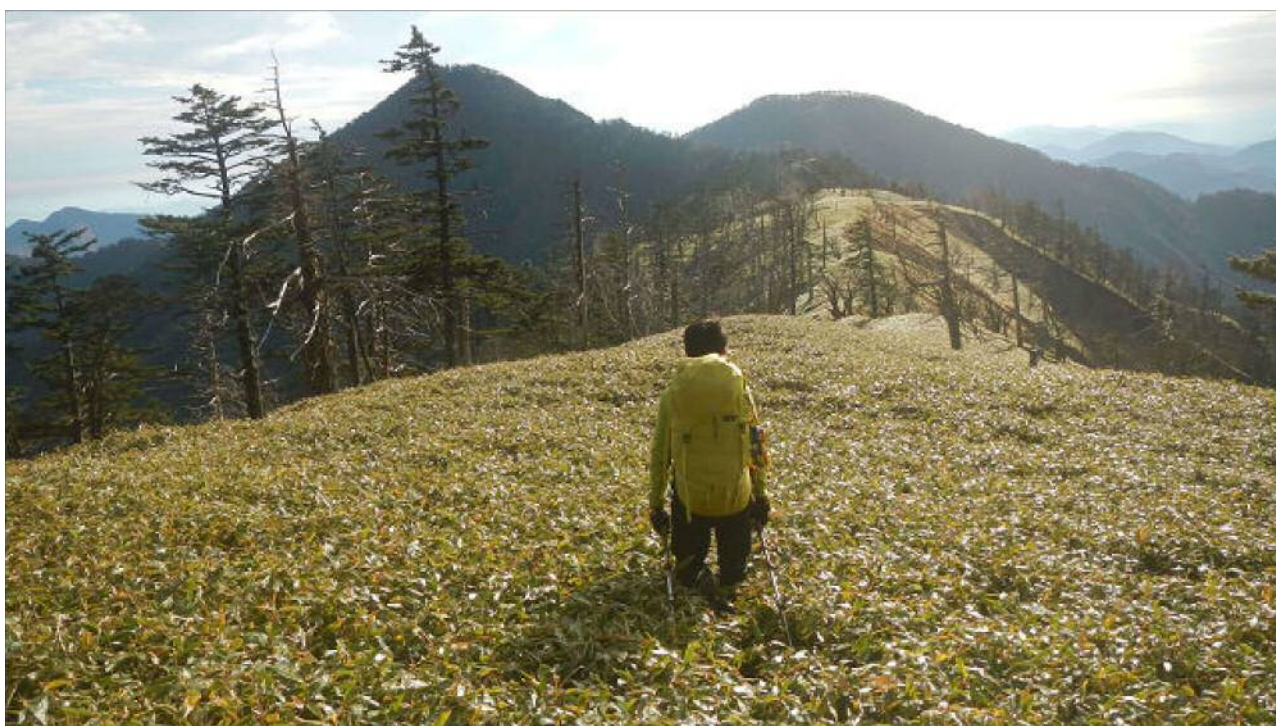


標高1800mあたり。笹を掴んで登っていく。



写真中央のガレは鎌ナギ。今までに2回通過したが全容は初めて見た。

丸盆岳からは深南部の山々を眺めながら緩やかな笹の原を下って行く。
黒法師岳への登りにかかると以前来た時よりも笹が濃くなっているように感じた。また、北西側の崩れが広がっているようにも感じた。
自然は常に変わっている。



丸盆岳から南下していく。正面左は黒法師山。その右奥はバラ谷の頭。



黒法師岳の山頂直下。以前よりも笹が濃くなった気がする。

黒法師岳山頂にて幕営。風の音が結構強かったがテントが揺さぶられることは無く、快適な幕営地であった。

夜間にテントの外に出ると南南西方向に街の灯が見えた。鹿の鳴き声が響き、テントの周囲を歩く足音も聞こえる夜だった。

<タイム> 寸又峡P 5:40－飛竜橋6:15－千頭ダム7:55－天地吊橋8:25－東尾根上9:35
－丸盆岳山頂14:30～14:45－黒法師岳16:20

11/4(土) 曇りのち晴れ

ヘッドランプ無しでも歩ける明るさになるのを待って出発。暗闇の中で踏み跡不明瞭な笹ヤブを進むのは困難である。

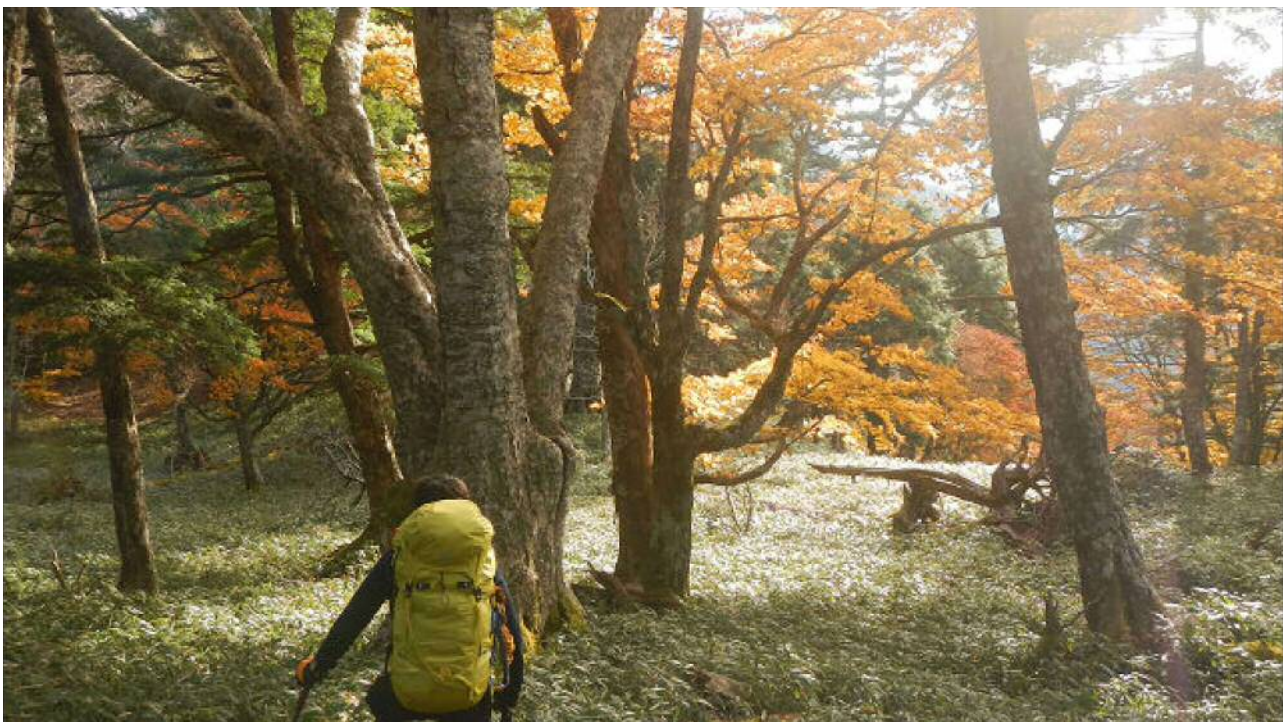
深い笹をかき分けて黒法師岳の南西尾根を下って行く。下りだからまだ良いが、登りだとかなり疲れると思う。

ルート上の注意点は標高1550mあたりで右(南)に曲がること。まっすぐ降りると東の枝尾根に入ってしまう。



黒法師岳からの下り。笹が深い。

標高1812m地点まで降りれば笹は腰程度になってトレールもはっきりしてくる。
ニッ山(標高1810m地点)を過ぎると広い尾根の中にダケカンバとみられる巨木が点在する癒しの場になる。



標高1450mあたりまで下った所。紅葉が美しい。

やがて林道に合流する。我々は水は十分持っていて給水不要だったが、時間に余裕があったので水場を確認しに行った。

林道を300mほど南西方向に進むと沢地形にぶつかる。水の流れは林道上から確認できた。ザレ場を

数10m下れば水にありつける。



ヘリポート跡。近くに水場もあるし幕営には最適である。

林道を戻ってコルまで進み、前黒法師岳に向かう尾根に取り付く。森の中に明瞭な道がある。傾斜が緩んでほぼ平らになった所で山頂の標識が見えた。展望無しの全く地味な山頂である。ここから先は寸又峡から多くの人が登って来る登山道。所々の木に赤ペンキがついている。全般的に結構急な下りである。登ってくれば良いトレーニングになるだろう。



前黒法師岳から先は赤ペンキ多し。道も明瞭。

大間川沿いの林道に降り立つ。10分ほどで飛竜橋に到着。橋の周辺では観光客が散策していた。

温泉街に向かって歩いていくとさらに多くの観光客で賑わっている。
少し浮いた感じの我々はその中を通り抜けてゴールした。

<タイム>

幕営地6:10－ヘリポート跡8:10～8:45－前黒法師岳9:55～10:10－飛竜橋12:40－寸又
峡駐車場13:10

以上